

平成25年度 単位施策評価表

所属 25100000
産業振興部 商工観光課

施策	6201 商業の振興						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	空き店舗への新規出店者						
単位施策目的	空き店舗対策の推進、商工団体との連携強化、商店街の活性化支援等を図る。						
成果指標	空き店舗への新規出店数（単位：店舗）						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 []	予定	0.00	4.00	6.00	8.00	10.00
		実績	2.00				
	成果指標2 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
単位コスト							
トータル (千円)	予定	57,058			0	0	
	実績	56,087			0	0	
内部評価	貢献度	上位施策の目標指標を達成するには、空き店舗数を減少させるとともに、商工団体と連携して中小企業の経営を支援する必要があるため、本単位施策による貢献度は高い。					
	達成状況	市のホームページやパンフレット等を活用して、空き店舗活用促進支援制度を広く周知したことにより、補助申請が複数あり、成果指標は実績が予定を上回っている。					
	課題	空き店舗補助制度については、基本施策「雇用の創出」内にあるため整理が必要である。また、補助対象区域外からの要望があり、まちづくりの観点から見直しが必要である。					
	取組方針	本年度中に、商工団体及び関係課と連携を取りながら、他市の事例を調査・研究し、家賃補助のあり方をはじめ、補助対象区域等について、制度の内容を総合的に検討する。					
外部評価	<p>空き店舗支援制度等により空き店舗への新規出店数の目標が達成されており、評価できる。さらに支援制度の周知を徹底して出店数の増加を図ること。</p> <p>商工団体との連携して空き店舗活用のための周辺全体の構想を策定して新規出店数の増加を図り、新規出店補助についても補助対象区域などについて見直しを行い、新規出店者が利用しやすい内容を検討すること。</p>						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータル(千円)	達成度
	300101	商工観光課一般経常事務費（栃木）				6,366	100
	300102	産業振興課一般経常事務費（大平）				2,784	100
	300103	産業振興課一般経常事務費（藤岡）				75	100
	300104	産業振興課一般経常事務費（都賀）				325	100
	300902	買い物代行サービス委託費				1,250	100
	306202	産業振興補助事業費（大平）				11,575	100
	306203	産業振興補助事業費（藤岡）				6,450	100
	306205	産業振興補助事業費（西方）				5,916	100
	315201	緊急地域雇用創出・蔵の街観光魅力アップ委託費				3,995	100
306204	産業振興補助事業費（都賀）				8,230	97	

